

まんだら通信

第 209 号 (通巻 244 号)

平成 25 年 11 月 西暦 2013 年 佛曆 2579 年 皇紀 2673 年

安房国八十八ヶ所 第一番札所
295-0103 千葉県南房総市白浜町滝口 1084
真言宗智山派 天神山 紫雲寺 高橋 龍渉
郵便振替 00120-2-43163 紫雲寺
TEL0470-38-4740/FAX 0470-30-5040
<http://www.shiunji.org/>
Mail post@shiunji.org



左 右
霊鷲山
ブツダガヤ大塔裏の菩提樹と金剛宝座



お釈迦さま最後の旅



最後に沐浴されたヒラニャバティ川



アーナンダ尊者のストゥーパと
アショカ大王が建てた石柱



ブツダに乳粥を差し上げた村娘、スジャータ
が寝んでいた村



ビルマの仏教徒が建てた、左の写真の涅槃堂の内部。
世界中の仏教徒のお参りが絶えません。

▼11月1日に成田空港を出発して、きのう8日に帰ってきました。身体のことが心配でしたが、着いてみたらなんのこともなく、陽気は10月中旬くらいで、これならまた来れるぞ、と孫に話していましたが、帰りの飛行機で風邪を引いたらしく、昨日から横になったり、この『まんだら通信』を書いたりしています。

▼ルンビニのアショカの樹の下で生まれ、ブツダガヤの菩提樹の下で悟りを開き、今またクシナガルのサーラの樹下で大いなる涅槃に入るという、常に質素そのものご生涯でしたが、あれから2,600

年。そのお姿は見えなくなっても、こうして世界中の人たちに温かい眼差しと、心の糧を与え続けるお釈迦さまは、矢張り偉大なお方だと、あらためて思いました。

キリスト教やイスラム教、ユダヤ教など、世界には沢山の宗教がありますが、釈尊のご生涯が身をもってお示しのように、これからの世界を思う時、争うことをしない仏教が一番相応しい考えではないでしょうか。▼上の写真は400枚近い今回の中の極く一部です。町や村で見かけた普通の人たちの暮らしぶりなども写してきましたが、機会があれば掲載したいと思っています。

▼インドのことを『渾沌の大地』などと言いますが、火星探査衛星を打ち上げるかと思えば、増え続ける車に追いつかない道路事情があり、時速100キロの有料道路を、人が横切り自転車が行き、三輪タクシーが行き、牛がのっそのっそと歩いていたります。

大穴だらけの幹線国道では時速4キロ、人が歩く程でしか走れないという、日本では信じられない道が、何キロも続いていたります。

▼多分、外国人には触れて欲しくないことだと思うのですが、相変わらず厳重な4つのカーストの身分があり、更にその下に、どのカーストにも入らない『不可触賤民』という、“言葉を話せる動物”という扱いの人

達が1億人もいて、この人たちに触っただけで穢れが移ってしまうということですね。

独立後、このカースト出身のアンベードカルさん(不可触賤民出身でネルー内閣で閣僚)、の提唱で、もともとカーストを認めない仏教への改宗運動の結果、50万人が仏教徒になりました。でもヒンドゥー教では、この人たちがネオ・ブディストと呼んで、インドでの地位は相変わらずということです。アンベードカルさんもそうだったように、勉強して知識を身に付けることでしか、この境遇から抜け出す方法はないはないのかも知れません。現在のネオブディストは、日本出身の笹井秀嶺さん(1935年生まれ)が指導しているそうです。 2013,11,09 龍渉

につばん人情小噺

三遊亭鳳豊 ほうほう

第九十四話 つば九郎

今年も巨人が強かったプロ野球。楽天の活躍が痛快でした。

そうしたなかで、たくさんの野球選手が現役生活に別れを告げました。有名なところでは、阪神・檜山選手、広島・前田選手、中日・山崎選手、そうそう、地味なところではヤクルトの宮本選手なんかもそうです。

今日は、その宮本選手の引退にまつわるお話をしたいと思います。その前に、なぜ、スワローズという名前になったかご存知ですか。

話は、スワローズがヤクルトになる前の、国鉄時代に遡ります。そうなんです。まだJRが国営鉄道と呼ばれた時代、国鉄というプロ野球球団があったんですね。古い野球ファンなら、金田正一なんていうピッチャーが国鉄のエースで、巨人・国鉄戦で巨人に入団したばかりのルーキー長島茂雄を、開幕試合で金田投手が四打席四三振させたなんてことを覚えていらっしやるかもしれません……。

国鉄がなぜスワローズなのか。実は、当時、プロ野球では鳥の名前をチーム名にする球団が多く、ホークス(鷹)、イーグルス(鷲)などというチームがあったのでそれよりもっと強い鳥にしようと、コンドルズと決定しかけたのですが、そこでひとり反対意見を唱えた人がいたんです。そのひと言ですべてがひっくり返った。その方は、会議に集まったお歴々にこう言ったそうです。

「皆さん方、コンドルズは絶対にいけません。国鉄コンドルズでは、混んでいると、多くの通勤客が悩んでいる満員電車のあの嫌なイメージが浮かんでファンが増えません」

「じゃあ、何かいいと君は言うんだ」「もっと、空席がたくさんあるように、楽に通勤ができるように、みんなスワローズではどうでしょうか」

ほんとかどうかわかりませんが……。そのスワローズにマスコミがいま

す。名前を「つば九郎」と言います。ちょっと小太りなので、よくペンギンに間違われるそうですが、あれは、つばめです。つばめのことを、「つばくろ」と言ったところから、その愛称がついたようですが、ぬいぐるみを着て、試合のある時には、球場にやってきたお客さんを喜ばせる、昔のサーカスで言えば、ピエロの役どころですね。球団からは応援部「部鳥」と呼ばれています。部長ならぬ、部鳥というところがいいですねえ。

でも、古いんですよ、「つば九郎」。デビューは一九九四年四月九日ですから、いまから十九年前になります。

「つば九郎」がデビューした翌年に、宮本慎也選手がヤクルトに入団してきました。以来、「ふたり」の仲は深い信頼で結ばれるようになりました。なぜなら、ぬいぐるみを着ているために、十九年もの長きにわたり、ファンの前に顔を出すことのできない「つば九郎」の悲しみを、誰よりも宮本選手が知っていたからでした。

「つば九郎、がんばれ！ スワローズを必死で応援しろ。俺は、お前を応援するからな」宮本選手は、春の自主トレにも「つば九郎」を連れていきます。もちろん、旅費から滞在費まですべて宮本選手持ちです。そして、夜は、いっしょに床を並べて眠ります。「つば九郎」は知っています。宮本選手が睡眠中になんやら腕を動かして、スロージングをしているのを見て、寝言で野球の話をしてたりしているのを見て。「つば九郎」は知っています。

宮本選手が睡眠中になんやら腕を動かして、スロージングをしていたり、寝言で野球の話をしてたりしているのを見て。

(ああ、この人は夢のなかでも野球をしてるんだ)「つば九郎」は、宮本選手が入団当時、球団から期待された新人では決してなかったことも知っています。宮本選手からじかに聞いています。

「つば九郎、俺はさ、もともと才能はないけれど、二年でもいい、いや一年でもいいから、プロ野球の選手になりたかったんだ。だから、練習をした。練習するしか、俺の夢をかなえる方法はないからな。でもな、いくらががんばってもダメな時もあるだろう、そんな時は、誰よりもお前に最初に告白するから、黙って聞いてくれな」

「つば九郎」は見ていました。宮本選手が、若い頃からつい最近まで、どれだけ泥だらけになってノックを受け、誰も見ていないところで歯を食いしばって走っていたか……。

だから、ひ弱な宮本選手が神宮球場でホームランを打つと、サインといっしょにホームベース上で頭をポンポン叩き、球場のファンに向かって万歳を促しました。やがて宮本選手は、三度のヤクルトの優勝に貢献しただけでなく、WBC日本代表選手の主将も務める大選手になりました。

そして、今年のシーズンが始まりました。ヤクルトは主力選手が故障したこともあって、ずっと最下位でした。最悪のシーズンもあと一週間で終わるといふある日のこと、宮本選手が試合前のノックをサードで受けているのを、いつものようにつばめのぬいぐるみを着たまま、跳んだりはねたりして盛り上げていた「つば九郎」に宮本選手が近づいてきました。(ダメじゃん。宮本さん、いま、ノックの最中だよ。ちゃんと真面目に練習しなけりや)「つば九郎」がそう思った瞬間、宮本選手はぬいぐるみの耳元で、こう言いました。

「つば九郎、来週、俺、引退の記者会見するから」「え!」「え、じゃないよ。」

いくらががんばってもダメな時は、誰よりもお前に最初に告白するって約束したじゃないか」「つば九郎、来週、俺、引退の記者会見するから」

「つば九郎」は、昔、宮本選手からそう言われたことを思い出しました。でも、まさか、こんなぬいぐるみの自分に、監督にも家族にもまだ言っていない、プロ野球選手の人生で一番大事なことを告白してくれるとは思ってもみなかったことでした。

いつも道化役の自分の気持ちを理解してくれる宮本選手の友情に、「つば九郎」は、思わず胸が熱くなりました。それを察したのか、宮本選手は「泣くんだったら、会場に来るなよ」と言って、再び、守備位置に戻っていききました。

それから十日後の二〇一三年十月四日、神宮球場で宮本選手の引退試合が行われました。「一番、シヨート宮本、背番号六。生涯協役に徹してきた男の名前が響くと、球場は地鳴りのような歓声に包まれたのでした。「つば九郎」は精一杯、飛び跳ねました。(宮本さん、長い間、ありがとう)と心の中で叫びながら。



今月の野草は、先月号で咲いているところをご紹介した、タンキリマメの種子です。このマメを煎じて飲むと痰切り作用があるという民間薬ですが、どうも効き目は疑問というのが通説だとか、そんなことよりも、宝石のようなこの種子を見つけると、今年の秋もそろそろ思うようになります

余滴

今年のふれあいコンサート
日時 11月17日 (日曜日)
開演 17:00
出演 フルート 深津純子 タブラ 逆瀬川健二
シタール 辰野基康
キーボード ジョン・グレゴリー
インドの大地から湧き上がってくるようなインド楽器とフルートの饗宴。お聞き逃しのないよう。

(今月号も三遊亭鳳豊さんとMOCK U出版のご好意です)

